

Stage9

Blackbeard's Ship

黒ひげの船

作・ミック・ガワー

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話すといいでしょう。

・表紙と裏表紙を見ましょう。この本にどんなことが書かれているかヒントが見つかります。

・ページをパラパラとめくって絵を見ましょう。海賊船での生活はどんなものだと思うか、お子さんにたずねてみましょう。

・この本は最初から順番に読まなくてもいいことを、お子さんに言ってあげてください。目次のページを見て、読むところを一緒に選びましょう。

自分のスピードでこの本を読めばいいよと、お子さんに言ってあげましょう。

<ひっかかることば>

ここにあげるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

Blackbeard 黒ひげ

booty 戦利品

enemy 敵

scared こわかった

scurvy 壊血病

barnacles フジツボ

disease 病気

shanty 舟歌

この本にでてくる単語のなかには、24 ページの用語集で説明されているものもあります。

[p. 1]

黒ひげの船

もくじ

全員乗船！	2
黒ひげ	4
私掠(しりやく)船と海賊	6
埋められた宝もの	8
見張り	10
甲板の上	12
整理整頓	14
甲板の下	16
船倉の中	18
ひと休み	20
キャットとタイガーの海の舟歌	22
用語集／索引	24

作・ミック・ガワー
絵・ジョン・スチュアート

[p.2]

全員乗船！

「アン女王の復讐」号へようこそ。この船は名高い海賊の黒ひげのものです。さあ、船に乗ってください。なかを案内しましょう！

< 錨を上げろ！ >

[p.3]

< おーい、船だぞー！ >

< おも舵(かじ)いっぱい！ >

< こいつはたまげた！ >

[p.4]

黒ひげ

黒ひげと手下の海賊たちは、300年前のカリブ海で船を襲っていました。黒ひげはとても背が高く、非常に恐ろしい男でした！

今日、わたしたちが海賊のことを考えるとき、しばしば黒ひげのような海賊を思い浮かべます。

< 黒ひげはよく三角帽をかぶり、深紅の上着を着ていました。 >

[p.5]

黒ひげにまつわる話はたくさんのおこっています。そのため、どれが本当の話で、どれが作り話なのかわかりにくくなっています。下にあげているのは、わたしたちが知っていると思っている黒ひげにまつわる話です……

本名は？	エドワード・ティーチ
いつ、どこで生まれたか？	1680年ごろ、イングランドのブリストルで
いつ、どこで死んだか？	1718年11月22日、アメリカのノースカロライナで、ロバート・メイナード船長に捕えられ、処刑された。
何年間、海賊をしていたか？	わずか2年
何隻の船を襲ったか？	少なくとも50隻

< 黒ひげを恐ろしく見せていたのは何だったんだろう？ もちろん、黒いひげだ！ >

[p.6]

私掠(しりやく)船と海賊

黒ひげの時代には、海の支配をめぐる、多くの戦争が行われていました。戦争をする国は、「海軍」を戦いに送り出しました。海軍に十分な船がないときは、私掠船と呼ばれる個人の所有する船が、敵を攻撃するために送り出されました。

私掠船が敵の船を捕まえると、船長はほうびをあたえられました。また、奪った品物を何でも自分のものにすることが許されていました。黒ひげが最初に乗ったのも私掠船でした。

< 立派な船だなあ！ >

[p.7]

戦争が終わると、私掠船で戦った船乗りたちは、ほかの仕事を見つけなくてはなりませんでした。

たいていは、そのまま海に残りました。船乗りたちは船を襲い続けて「積み荷」を奪いました。黒ひげのように、海賊になったのです！

<「アン女王の復讐」号>

[p.8]

埋められた宝もの

海賊にはみんな、ひとつ共通していることがありました——彼らは宝ものを求めていました！

海賊の宝ものとは、金や銀や宝石でした。あるいは、砂糖や香辛料や綿だったりしました。また、食料や飲み物、武器、道具、薬、船の予備の部品なども奪いました。

海賊は「戦利品」を仲間どうしで山分けしました。船長がいちばん多く取りました。

知識

コインは山分けしやすかったので、人気のある戦利品でした。たくさんの物語や映画で、海賊たちはピース・オブ・エイトとよばれたコインを宝箱に詰めています。これは、スペインやメキシコでつくられていたコインです。

<黒ひげは、ほんとうに宝ものを埋めたのかな？>

[p.9]

宝ものを埋めて、それをふたたび見つけ出すために地図を書いた海賊の物語がたくさんあります。でも、ほんとうにあったことなのかどうか、だれにもわかりません。みなさんは、どう思いますか？

[p.10]

見張り

敵の船を発見するいちばんいい場所は、メインマストのてっぺんにあるカラスの巣とよばれる見張り台です。晴れた日には、「見張り」がはるかかなたの船を見つけることができました。落っこちる可能性があったので、危険な仕事でした——とくに嵐のときなどは。

<見張り台>

<メインマスト(主帆柱)>

<帆>

<船だぞー！>

[p.11]

見張りは、別の船がだれのものなのかを、旗の色や模様で見分けていました。

海賊の旗は、ふつう、黒い地に骸骨の絵が描かれていました。

船乗りたちは海賊を恐れていました。海賊の旗を見ると、戦わずに降伏することもよくありました。

<これが黒ひげの旗よ。こわいでしょ。>

[p.12]

甲板の上で

物語は海賊の暮らしをワクワクするものに描いています。でも、海賊の実際の生活はきびしいものでした。たいていの海賊はお腹を空かせて、病気にかかっている、お金がありませんでした。

海賊は、襲う船を求めて、海の上で何週間も過ごすことがありました。襲う相手がなければ、退屈してしまいます。ときにはケンカも起こりました。乗組員を支配下におくのは、船長の仕事でした。

<きっと、黒ひげは乗組員を支配していたのね！>

[p.13]

＜海賊のおきて

海賊のおきてとは、船上の全員が守らなくてはならない規則集のことでした。もしこれがなければ、トラブルが起きたことでしょう！

海賊にとって最大の罪は、なかまをだますことでした。捕えられた場合は、ひどい罰を受けました。海に突きでた板のうえを歩かされることもありました。＞

物語や映画では、多くの海賊が戦いで命を落とします。実際の海賊は、たいてい餓死か病気で死にました。多くの海賊の命を奪った病気のひとつが「壊血病」でした。壊血病は貧しい食生活が原因で引き起こされるものです。

[p.14]

整理整頓

海賊は船の手入れに多くの時間を費やしました。木でできた帆船は、とても濡れやすく、汚れやすかったのです。事故を防ぎ、病気が広まるのを防ぐには、船を清潔にしておくことが重要でした。甲板は、毎日、磨かなければなりませんでした。

[p.15]

海賊船は、荒波や強風でよく損傷しました。海賊は帆に継ぎを当てたり、帆柱を修理したり、新しい綱をなったりしなければなりませんでした。

海に出ていないときでも、海賊は船の手入れをする必要がありました。「港」にいるときは、船にくっついた「フジツボ」をはがしていました。フジツボは船の速度を遅くするものでした。

＜ふー！ 海賊って重労働なんだ！＞

[p.16]

甲板の下で

「アン女王の復讐」号には 300 人の海賊が乗船していました。海賊たちは甲板の下で食事をしたり、眠ったり、働いたりしていました。汚くて、きゅうくつで、ほとんどの海賊は……びしょ濡れでした！「船体」は水が漏れて、海水が入ってきたのです。

＜甲板の下で暮らす海賊を描いた絵。＞

[p.17]

海賊は水漏れを防ぐのに多くの時間を費やしました。木の板の間にできたすき間は、綱の繊維で埋めました。それから、熱い「ピッチ」という物質をかけて、綱に防水加工を施していました。

たいていの海賊は服をひと組しかもっていませんでした。それをくる日もくる日も着ていたのです！

海賊は汚れる仕事でしたが、めったに洋服を洗いませんでした！

＜くー！ 海賊はとても臭かったらうな！＞

[p.18]

船倉の中

食料、飲み物、その他の日常の必需品は、船の下にある「船倉」というところにしまっていました。

重い物は、船のバランスを取るために、中央に置かれていました。

ネズミは大問題でした。食料を食べ、病気をばらまいたからです。

[p.19]

海に出て数週間すると、新鮮な食料や水はたいてい残っていませんでした。料理人は腐った食事の味をごまかすために、香辛料をたくさん使わなくてはなりません。食べ物には「ウジ虫」がわいていることがよくありました。

<あのネズミは腹ペコみただ！>

[p.20]

ひと休み

働いていないとき、海賊はトランプやサイコロで遊ぶのが好きでした。角材を使って模型の船を彫るのが好きな海賊もいました。

また、歌ったり踊ったりするのも好きでした。多くの海賊船が音楽師を乗せていました。

[p.21]

舟歌は、船乗りたちがきつい仕事や退屈な仕事をしているときに歌ったものです。さまざまな仕事のために、いろんな舟歌がありました。

「短い(または、「引っ張る」)舟歌」は、ロープを引っ張るような、急いでしなければならない仕事のときに歌いました。

「帆綱の舟歌」は、帆を上げるような重労働のときに歌いました。

「巻き上げ機の舟歌」は、錨を下ろすような時間のかかる作業のときに歌いました。

<ページをめくって、キャットとタイガーのオリジナルの舟歌を見てみよう！>

[p.22]

キャットとタイガーの海の舟歌

絶好の強風、西へと吹いて、
お宝最高、カリブ海へ、吹いてるぞ。
金、銀、スペイン硬貨がザクザク——
それ帆を張れ
潮は待っちゃくれないぞ。

海賊の暮らしがおいらの暮らし——

海賊の旗の下、ゆれる波の上！

強い南風、モンテゴ・ベイへ

お宝隠しに、いざ、出発。
地図はある、こわいものはない、
お宝掘るさ、天気がよけりゃ！

海賊の暮らしがおいらの暮らし——

海賊の旗の下、ゆれる波の上！

[p.23]

強い北風、吹いとくれ

帆はパンパン、スピード上げろ。

海軍さんが追ってくる、

それ帆を張れ、逃げろ！

海賊の暮らしがおいらの暮らし——
海賊の旗の下、ゆれる波の上！

絶好の西風、家まで吹いて——
港めざして、旅はこりごり。
カリブ海に別れを告げて
お家めざしてかじを取れ！

海賊の暮らしがおいらの暮らし——
海賊の旗の下、ゆれる波の上！

[p.24]

barnacle かたい殻をもった小さな海の生物で、船の底にはりつく

booty 奪った宝物

cargo ある場所から別の場所へと船で運ばれる物品

hold 船の底にある貯蔵のための場所

hull 船の底と横

lookout 他の船や、陸の影を探すために配置されている人

maggot ハエの生んだ卵から出てくる小さな虫

navy 国を守る船と船員

port 1)海港 2)(正面を見たときの)船の左側

pitch タールからできる、ねばねばした黒い物質

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・黒ひげについて、どんなことを学んだかな？
- ・海賊について、どんな新しいことを学んだ？
- ・この本を読んで、海賊の暮らしがどんなものだったか、考えが変わった？
- ・この本は気に入った？ その理由は？

この話をまた読んでみるよう、お子さんにすすめましょう。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

- ・お子さんと海の舟歌の歌詞をつくってみましょう。
- ・海賊たちが食べなくてはならなかった食べ物の話をしましょう。